



第22号

発行日 平成28年4月吉日(2016)
 発行者 新潟産業大学校友会
 責任者 小栗俊郎
 編集 新潟産業大学校友会事務局
 新潟県柏崎市軽井川4730番地
 TEL0257-24-8444(直通)
 FAX0257-24-8444



校友会(青濤会)の一層の充実は、
 若い世代への転換から

会長 小栗俊郎(短11回)

柏崎市の大切な財産の一つが新潟産業大学である。若者が入学したくなるような大学を地元に着意する事。地方の大学は、地域に役立つ若者を育成するためである。(柏新時報一月一日号 北原保雄学長先生談抜粋)

魅力ある、価値のある大学を作っていくために我々校友会の支援や連携する立場も大変重要になってくると考えている。

○産業大学の歴史と共に校友会(青濤会)の歴史もある。

校友会のシンボルカラーはブルー。空、海、朝、あざやかさは柏崎を象徴する。「濤は未来を目指す若さ、情熱、躍動を示す。命名は第一回卒業生高橋章氏(91才)である。

柏崎専門学校設立の先駆者は下條恭平先生である。先生は敗戦後の荒廃した国土を復興するためには、有為なる人材の育成こそ必要であることを叫び、自らそれを実行すべく、昭和22年(1947)柏崎の地に柏崎専門学校を創設した。先生の胸像は、関係者お

よび校友会等の寄付金により、産業大学校庭内に設置されている。(昭和42年)青濤会会員名簿より
 校友会第一回の同窓会・総会は昭和29年(1954)6月に開催されている。以来平成27年11月の総会で15回。3年に一度のサイクルで実施されている。

○校友会青年部への限らない支援

片桐健三前事務局長を中心に、数年前から青年部設立を構想し、会を重ねる部設立への計画を進めて来ました。平成26年11月15日、青年部本部設立役員会を実施、決定しました。

世代の交代が進む中、新しい21世紀のスタートです。若い力、若い発想、若いエネルギーが必要とされる時期。大学運営にも新しい風を運んでくれる事を期待しています。

各支部においても、この流れに遅れる事なく、産業大学卒の発掘と支部への登用を積極的に進めて欲しいと思います。高橋和規本部青年部長を中心に活動が展開されつつあります。会員相互の親睦と連携の強化。母校

発展へ校友会本部、大学との連携推進の強化。本部行事、支部行事への積極的参加、本部青年部、支部青年部との連携強化、若い力が必要です。

○魅力ある青年部。歴史を重ねた校友会。互いに協力し、未来の校友会(青濤会)が活動しやすい様、英知を結集し力一杯支援して行く所存です。会員の皆様のご指導をよろしくお願い致します。

学校法人 柏専学院	
理事、評議員	
(校友会会員で理事、評議員の方)	
理事	樋口 栄治(短18回)
理事	平井 誠(大2回)
評議員	土田 茂(短21回)
評議員	平井 誠(大2回)
評議員	高橋 和規(大2回)
評議員	樋口 栄治(短18回)

本部定期総会が開催される！

去る平成27年11月14日(土)に柏崎市のメトロポリタン松島で3年毎に開催される本部定期総会が開催されました。

当日は、県内はもとより全国から会員が参加され盛会の中で終了をいたしました。



▲小栗会長



▲北原学長



◀議事説明 片桐事務局長

懇親パーティー▼



▲定期総会

総会後は、芸術文化部によって素晴らしい演技がいくつか披露されました。司会は当部の特任講師であります花音紅香先生が各演技の説明をされていました。特に中国からの留学生の着物による踊りは見応えがありました。

芸術文化部による演技の数々

(特任講師) 花音紅香先生



新潟産業大学基金のお願い

新潟産業大学では、教育研究活動全般の充実・発展を図るため、広くご寄付をお願いしております。

寄付金は、地域高等教育の府として社会的責任を担う本学にとって、学費や補助金に次ぐ、第三の収入といえるものです。いただきましたご厚志は、「地域社会や企業を主体的に支える人材の育成」という本学の教育理念の達成のために活用させていただきます。

何卒、皆様の格別のご支援をお願い申し上げます。

募金要項

- 募金の金額 一口 5,000円(複数口をいただければ幸いです。)
- 募金の払込方法 同封の「青色の振込用紙」にご記入のうえ郵便局からお振込下さい。
- 寄付金控除について 所得税の寄付金控除の措置を受けることができます。
- 寄付者名簿の公表について ホームページ、学報等で寄付者の御芳名を公表することに同意される方は、振込用紙通信欄にその旨チェックをお願い致します。

※ご不明の点は、新潟産業大学総務課まで。
総務課 TEL 0257-24-6655

新潟産業大学校友会講演会

佐藤啓介 × 青柳 勸
ブルボンウオーターポロ柏崎監督
(株)のみやき亭・代表取締役社長

新潟産業大学の校友会では、毎年
大学と連携し卒業生と市民の皆様
のためのリフレッシュ講座を開催して
います。

平成27年度の昨年は、「トークイ
ベント」を6月20日(土)会場は柏



崎市の柏崎市産業文化会館文化ホ
ルで行いました。

当日は、14時から15時30分の1時
間30分の時間でしたが、当会の会員
を初め市民の皆様が大勢参加してい
ただきました。

トークイベントは、株式会社

あみやき亭・代表取締役社長

佐藤啓介氏とブルボンウオータ

ーポロ柏崎の監督兼選手の青柳

勸氏をお迎えいたしました。

また、司会者は柏崎市に在住

して定評のあります遠山重紀子

氏にお願いしました。

佐藤啓介氏は、1972年新

潟短期大学を卒業後、佐藤氏の

兄が名古屋市中で経営する精肉店

を手伝い44歳の若さで独立し、

東海地区で焼肉専門店あみやき

亭を設立し、首都圏でも大きな

実績を上げている努力の人物で

す。

青柳勸氏は、2006年水球

のイタリアの4強の1つシステ

ス・プレッシャと契約。日本人

として欧州リーグに出場、その後「ブ
ルボンKZ」を設立し同じく努力の
人物です。

司会者の遠山さんは、解りやすい
言葉で、お二人のここまでの経過か
らお聞きし今日までの苦労、努力、

頑張ったことなどを丁寧に質問さ
れ、静聴している皆様が理解される
よう司会を進めていただきました。

そこでお二人の「夢を持ち続け
る」、「夢をあきらめない」「夢は必
ず叶う」といった気持ちをお忘れな
いことに深く感銘しておられました。

佐藤氏はこの事業にかけた努力・
修業・感謝があり、青柳氏は単身海
外のイタリアに渡り孤独・苦痛・練
習があり、今日の成功があるという
事に勇気づけられました。

今後も、佐藤氏、青柳氏は次の夢・
目標に向かい努力していきたくと述
べており、聞いている私達も大いに
夢を持ち、頑張りたいと思います。

講演会のトークイベントも佐藤啓
介氏・青柳勸氏のお話、司会者の
進行等が上手く時間が足りないよう

な気もいたしました。

最後に、佐藤氏・青柳氏お二人に
感謝の気持ちで拍手、併せて司会
者遠山氏に拍手を送って講演会のト
ークイベントは終了いたしました。



快拳演出

ブルボンウォーターポロクラブ柏崎

水球リオ五輪アジア大陸予選で、五輪出場をかけた競技が行われ日本水球代表に、ブルボンウォーターポロクラブ柏崎（ブルボンKZ）所属の選手の4名が大活躍した。

その結果、見事優勝し「金メダル」を勝ち取りました。

昨年の大活躍から地元柏崎市では4選手を歓迎して、行事が開催されています。

平成27年12月22日には、新しく竣工された「市民活動センターまぢから」で行われた記者会見には多くのマスコミが駆けつけ、4選手は笑顔で明るい雰囲気に対応していました。

また、当日はブルボンKZを牽引してきました青柳勸選手の引退会見も行われました。

青柳選手と柏崎の縁は、国体の2巡目「トキメキ新潟国体」（平成21年）の水球競技開催であり、水球競技のレベルアップに尽力した青柳選手は閉幕

後、我町柏崎で水球のまちづくりを進めたいと思い、そのために社会人チームの結成が必要と柏崎に残り、この青柳選手の熱い思いが関係者および市民に伝わりました。そして市民・関係者の大きな力が今回の快拳であるリオ五輪出場につながり、所属の選手も大活躍されました。

柏崎のブルボンKZを今日まで青柳選手と牽引してきました人がもう一人おられます。

現在、新潟産業大学の理事長であり前学長の広川俊男先生がその人です。広川先生は、柏崎で水球を育てるため精力的に、吉田ブルボン社長、会田市長に会い協力を依頼し今日の「ブルボンKZ」の基礎を築き育ててきました。

先生は水球の指導者としても豊富な経験がありますが、青柳選手の力が一緒に今回のリオ五輪出場という快拳を成し遂げたと振り返っています。

青柳選手は今後監督に専念しますが、4選手の活躍、さらに3人の強化選手もおりオリンピックでは上位入賞を目標にしています。

ブルボンKZの所属選手を紹介したいと思います。

志水祐介選手は、主将でありセンターフォワードであります。抱負は「世界を視野に入れて戦わないといけない」として体の使い方、技術を研究

してレベルアップしたいと述べています。28歳・熊本県出身であります。

菅井翔太選手は、ドライバーであります。海外で泳ぎのスピードとパス精度に磨きを掛けており、攻撃の核がカウンターとなるので、「長所を伸ばせば結果につながる」と述べています。30歳・京都府出身であります。

保田賢也選手は、センターバックであります。守備の要であり体をぶつける競り合いが多いポジションとなります。「夢がかなった」と述べています。五輪では組織立った守備での堅守を望んでいます。27歳・富山県出身であります。

棚村克行選手は、ゴールキーパーであります。イタリア、セルビアでプレー経験があり、鋭いセービングが持ち味であり、兄さんの英行さんもブルボンKZで元日本代表であり「兄の思いも背負っている、1つでもシユートを決め勝利に貢献したい」と述べております。27歳・東京都出身であります。

以上4選手を紹介しましたが、4人の選手は一度は進退に悩んだが「ブルボンKZ」が受け皿となっており、主将は「日本代表に一番貢献している」と言っています。

柏崎・日本水球会の発展を見据え、五輪の本番では大暴れしたいと頼もしく述べました。

選手紹介

棚村 克行



■たなむら かつゆき
1989年8月3日生まれ。
東京都出身。

保田 賢也



■やすだ けんや
1989年3月29日生まれ。
富山県出身。

菅井 翔太



■はずい しょうた
1986年9月30日生まれ。
京都府出身。

志水 祐介



■しみず ゆうすけ
1988年9月7日生まれ。
熊本県出身。



平成27年10月31日(土) 柏崎市産業文化会館にて平成27年度新潟産業大学校友会本部青年部役員会に出席しました。

初めて出席する会議でしたので、何人集まるのだろうか? どんな雰囲気なのだろうか? など、ときめき半分、不安半分で会場へ。恐る恐る会議室のドアを開けてみると、大卒1期生、22期生と幅広い年代の卒業生



が十数名集まっていました。会議は本部青年部の予算、活動方針等の話し合いがなされ、少し重い空気の中終了しそのまま懇親会となりました。

私が荷物をまとめていると「先生、ご苦労様です!」と女性から声をかけられました。なんと、私が指導している空手道場の生徒の父兄がここに。まさか大学の後輩だったとは思

いもよらず、再会を喜びながら懇親会場の安兵衛柏崎駅前店へ。

懇親会では学生時代の思い出話など大いに盛り上がり、あつという間にお開きの時間となりました。ビジネスへと繋がる出会いもあり、実のある時間を過ごす事ができました。

名残惜しかったです、再会を約束し解散となりました。

青年部役員会開催する

青年部副部长 星野康夫(大1回)

運営年会費の納入御礼とお願い

校友会員の大多数の皆様から、運営年会費を納入して頂きありがとうございました。みなさんの暖かい気持ちに支えられていることに改めて感謝し、厚く御礼申し上げます。

ご承知のように、運営年会費は校友会報の発行費用や各支部の運営補助金など活動資金の支援費として使用されております。また、会報も内容を更に充実させ、皆様から愛される校友会報にしたいものと頑張っております。

諸事ご都合もありがとうございます、是非とも、このような趣旨をご理解頂きご協力よろしくお願ひ申し上げます。

新潟産業大学に学ぶ学生達の活躍

2月6日(土)、柏崎市産業文化会館において「平成27年柏崎市体育協会優秀体育人B表彰式」が行われ、本学団体8組、個人12名の学生が受賞しました。

この表彰は、柏崎市体育協会が、優秀な競技実績をあげ柏崎地域の体育・スポーツの振興に功績のあった団体や個人に対し毎年行っているものです。

本学からは、1月15日に行われた優秀体育人A表彰授賞式で「スポーツ栄誉賞」1名、さらに今回のB表彰式で「優秀競技者賞」に4団体、「競技者賞」に4団体・12名の学生が受賞し、ステージ上で賞状を授与されました。この栄誉を励みとし、今後の更なる飛躍を期待します。

表彰者の氏名と成績は以下のとおりです。

スポーツ栄誉賞

【水 球】

- 濱田 周(1年)『第28回ユニバーシアード水球競技大会出場』



優秀競技者賞

【水 球】

- 水球部男子『第91回日本学生選手権水泳競技大会水球競技 2位』
- 水球部女子『第91回日本選手権水泳競技大会水球競技 3位』※「ブルボンウォーターポロクラブ柏崎」に所属参加。

【ライフセービング】

- 高橋志穂(2年)『第28回全日本ライフセービングプール競技選手権大会4×50メドレーリレー 7位』
- 高橋志穂(2年)・伊藤さゆみ(2年)『第41回全日本ライフセービング選手権大会レスキューチュアレスキュー 6位』 ※以上「柏崎ライフセービングクラブ」に所属参加。

競技者賞

【卓 球】

- 宮澤僚太(3年)『第63回春季北信越学生卓球選手権大会男子シングルス 優勝』、『平成27年度夏季北信越学生卓球選手権大会男子シングルス 優勝』
- 邱 文瑜(2年)『第63回春季北信越学生卓球選手権大会女子シングルス 2位』
- 齋藤駿介(1年)『平成27年度夏季北信越学生卓球選手権大会男子シングルス 2位』
- 高橋将和(3年)・宮澤僚太(3年)『第63回春季北信越学生卓球選手権大会男子ダブルス 優勝』、『平成27年度夏季北信越学生卓球選手権大会男子ダブルス 優勝』、『第63回秋季北信越学生卓球選手権大会男子ダブルス 優勝』
- 源通真優(4年)・宮島愛美(2年)『第63回春季北信越学生卓球選手権大会女子ダブルス 2位』
- 加藤春菜(1年)・山岸麻希(1年)『第63回春季北信越学生卓球選手権大会女子ダブルス 3位』
- 卓球部男子『第63回春季北信越学生卓球選手権大会男子団体 優勝』
- 卓球部女子『第63回春季北信越学生卓球選手権大会女子団体 3位』

【空手道】

- 久我優希(3年)『第41回北信越学生空手道選手権大会女子個人組手 優勝、女子個人形 2位』
- 岡本 桜(1年)『第41回北信越学生空手道選手権大会女子個人組手 3位』
- 錦織 奨(1年)『第41回北信越学生空手道選手権大会男子個人組手 3位』
- 空手道部男子『第60回北信越大学空手道選手権大会男子団体組手 優勝』
- 空手道部女子『第60回北信越大学空手道選手権大会女子団体組手 優勝』



近藤康信会長のご挨拶



男子水球部主将 津崎君、
優秀競技者賞受賞おめでとう



ライフセービング部高橋さん(左)、
受賞おめでとう!



卓球部宮澤君、
男子チームを牽引しています



卓球部高橋君(左)と宮澤君、
ダブルス4連覇中です



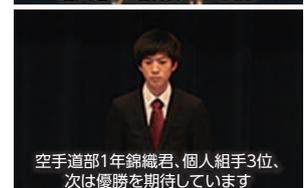
卓球部宮島さん、
女子ダブルス2位で受賞



卓球部加藤さん(右)と山岸さん、
ダブルスで1年生ながら3位



空手道部岡本さん、女子団体優勝・
個人組手3位受賞おめでとう



空手道部1年錦織君、個人組手3位、
次は優勝を期待しています



空手道部男子団体優勝の松崎君(左)と
錦織君、全員1年生です!!

新潟産業大学の就職状況(就職課資料より)

2015年度 就職行事 拝見



●公務員講座(平成27年4月)



●資格取得等奨励金授与式(平成28年1月)



●就職活動集中対策講座(平成27年12月)



●情報サイト登録ガイダンス(平成27年6月)



●マナー面接対策講座(平成27年12月)



●メイクアップ講座(平成27年11月)



●企業研究セミナー(平成28年2月)

就職内定状況

1月末日現在の内定状況は下表のとおりで、全体の内定率88.9%です。

		経 済 学 部		
		男 子	女 子	合 計
今 年 度	内定率 (%)	89.7%	86.7%	88.9%
	内定者数	35	13	48
	上場企業内定率 (%)	6.1%	0%	4.3%
	上場企業内定者数	2	0	2
	就職希望率 (%)	90.7%	100.0%	93.1%
	就職希望者数	39	15	54
	卒業予定者	43	15	58

注1：外国人留学生を除く

注2：内定率 (%) = 内定者数 ÷ 就職希望者数

注3：就職希望率 (%) = 就職希望者数 ÷ 卒業予定者数

注4：上場企業内定率 (%) = 上場企業内定者数 ÷ (全内定者数 - (公務員合格者数 + 個人経営家業内定者数))

新潟産業大学の資格取得課程について

博物館学芸員課程

学芸員とは博物館や美術館などで働く、専門的な知識や技術を身につけた職員のことです。学芸員の資格は国家試験合格者に与えられるものですが、産大では所定の科目の単位を修得し、大学を卒業すれば、それと同じ資格が得られます。

「博物館概論」「博物館実習」などの必修科目と「日本文化論」「日本の芸術」「日本の伝統芸能」などの選択必修科目とがあり、片岡直樹先生(美術史)、小林健彦先生(日本史)のほか、三井田忠明先生(元柏崎市立博物館長、民俗学)から一流の講師がそれぞれ専門分野の指導をされています。

このうち「博物館実習」の授業では、掛軸・絵巻物・茶器・刀剣・仏像・民俗資料などの実物やレプリカを用いて正しい取り扱い方を学びます。また、江戸時代の柄鏡を使って美しい拓本の取り方を学んだり、文化財を傷めない梱包の仕方を習ったりもします。

産大の博物館学芸員課程の大きな特長は社会人を多く受け入れていることで、これまでに3名の方が学芸員の資格を手に入れました。現在も約20名の受講者のうち3名は社会人で、若い学生らと共に楽しく授業を受けています。

専門の学芸員にはなくても、多くの人が文化財の適切な扱い方を学び、美術品を慈しむ心をもつことは、個々の人生を豊かなものにするとともに、成熟した社会づくりにも役立つことでしょう。産大ではこうした「市民学芸員」の育成にも力を入れています(ご興味がおありの方は産大教務課までお問い合わせ下さい)。



教職課程

教職課程は秋山教授と権田講師が担当しており、平成27年度現在、約30名の学生が、中学、高校の教員を目指し学んでいます。特に運動部で活躍している学生の中には、将来部活動の指導者になりたいといった希望も多く、積極的に教職課程を履修しています。

本学では中学校教諭一種「社会」、高等学校教諭一種「公民」の2種類の免許状が取得できます。少人数でしっかり学べる環境で、学生一人ひとりを丁寧に指導し、免許状取得、教員採用試験までをサポートします。

また、地域の小学校、中学校に出向いて、自主学習をサポートするボランティア活動や、研修、実習への参加を通じて、地元の小中学生とも交流しながら学んでいます。刈羽中学校でのオリジナルキャラクターづくりや、内郷小学校でのワークショップへの参加は学外でも高い評価をいただきました。研修、実習等のテーマとしては、地域に根ざした内容となっていることが多く、地域で活躍する人材を育てていくという意味でも、大きな魅力となっています。

支部だより

新潟支部総会開催

新潟支部長

北村 稔 (短16回)

平成27年7月11日、新潟支部総会が第一ホテルで開催されました。

当日は梅雨の晴れ間の中、本部から小栗会長ほか県内から長岡支部長樋口様、柏刈支部長内山様、上越支部長松苗様、妙高支部長畑山様を含めて総勢30名が参加しました。

会場には大卒者10名が参加し、今までにない若者の参加となりました。新潟支部長から「青年部を設立したい、今後は短大卒→大卒へシフトができるように若者が幹事会メンバーに名を連ねる環境をつくりたい」とあいさつされました。

来賓の小栗会長と議題に入りました。



本部総会開催の説明に引き続き、青年部設立の理由等のもと、経過報告、会計報告、監査報告そして役員改選、会則改正が審議され承認されました。

青年部は当面14名でスタートし青年部長に星野康夫氏が選任されました。

会場には青年部に未加入の大卒者6名(他支部から4名参加)が新たに新規加入し、青年部の拡大が期待されます。

今後の青年部は将来的に20名を目標にし、平成27年10月に青年部単独の設立総会を計画しています。

長岡支部総会開催

長岡支部長

樋口 栄治 (短18回)

平成27年9月5日(土)午後1時(アトリウム長岡において、三年ぶりに校友会長岡支部総会を開催いたしました。ご来賓を含めて33名の皆さんのご参加いただきました。

少子高齢社会の現実を考えますと近々の課題として「青年・若者から

成年(壮年)熟年(シルバー)の世代を連携することが理想的な社会です。

そのような状況の中で、今回は母校の現状を知るため



めに経済学部・教授 金光林先生のゼミ活動を事例として「大学で取り組む地域創生への挑戦!」のテーマで、十日町市の「トオコンsaison 5」で入賞したビジネスプランの事業化に至るまでの「地元柏崎の企業連携」によって実現した苦労と素晴らしい成果の話をお聞きすることができました。当日は興味深く「縄文クッキ」を試食することも叶い賑やかな講演会となりました。さらに、副支部長の白井一二氏からは「昨今の日本酒のウラ話」と題してユーモアたっぷりのお話をいただき「一芸に秀でた人材」を実感いたしました。このようなことは、校友会の「場」があるからこそ、体感・共感することが可能なのかもしれません。校友会に所属する平成の卒業生OB・OGも、すでに社会で活躍する中堅幹部の立場にあることと思われまます。職場や地域社会とは「別世界」の校友会に参加

県央支部総会開催

県央支部長

渡邊 喜彦 (短16回)



本年度の支部総会は、三条市の割烹加賀苑にて、本部より小栗会長をはじめ多くの役員の方々を迎え、総員21名にて開催されました。総会議事が順調に終わり、楽しい懇親会となり、皆様と記念写真の撮影の後、おいしい料理に舌づつみを打ちながら、たっぷり時間を過ごし、午後三時すぎに閉会しました。

只、いつも思うのですが、総会への出席者の問題です。総会の運営に努力をされている人達のご苦労の中で、何とか21名の幹事・役員は集まることが出来ましたが、県央支部会員が673名も居るのに、わずか21名という総会では、誠に残念に思います。連絡文書や同窓会誌を送っても届かないことや、会費の徴収がままならない、こんな状況が現実の姿です。

どうか会員の皆様方に心よりお願いしたいと思いますが、二年に一回の総会への出席、ぜひ一度おいでく

ださい。
そして旧交を暖め合いたいと思
います。

支部総会に出席して



柏刈支部長
細山 光夫
(大1回)

7月18日、柏崎市産業文化会館に
おいて、柏崎刈羽支部の総会が行わ
れました。この会議において、柏崎
刈羽支部長に就任させていただきました
しました。就任のあいさつの中で以下
の点を申し上げさせていただきました
た。歴代幹事になっていただいてお
るものの近年出席を頂けない幹事
の方を、若い産業大学卒の幹事に更
らせていただきたいこと。現役時代
の幹事が、集まりやすい会合場所、
日時の設定をさせていただきたいこ
と。また、SNS等を利用し支部校
友会の活動を活性化する方向で運営
していききたいと思っております。以
上の3点を申し上げさせていただきます
ました。これらの点を実行に移して、
「大学のある支部」として活発に活
動していききたいと思っております。今後と
も支部内会員方々様のご協力をよろ
しくお願いいたします。

長野支部総会開催



長野支部長
網嶋 正幸
(短6回)

平成二十七年十一月二十八日、市
内「もみじ茶屋」において、第九回
総会を開催しました。
今回も来賓として、本部からは小
栗会長、片桐事務局長、上越支部か
らは松苗支部長、妙高支部からは畑
山支部長をお迎えし開催することが
出来ました。

議題は「本部役員総会模様」「支
部活動状況報告・収支決算報告」「支
部青年部活動について」等でした。
支部青年部の活動については、本
部活動方針を踏まえ、支部活動方針
として(一)会員相互の親睦を図り
連携を強化する。(二)本部行事、
支部行事に積極的に参加すること
としました。
今後の課題としては、青年部を中
心として若い会員が活躍できる環境
づくりに向けて積極的に取り組んで
いくこととしています。



短39回第2回同窓会開催

片桐 淳 (短39回)

第1回開催時に定期開催の案が出さ
れて、幹事を引き受けましたが、不手
際の連続でようやく開催にこぎつけま
した。
親の介護、子供の受験、仕事で重要な
ポストについている、病気等、私達の年
代特有の問題が浮き彫りになりました。
そんな中、時間を作ってご参加頂い
た方に感謝申し上げます。
昨日の事は良く覚えていないのに、

元学長「坂野先生」の 墓参り紀行

北村 稔 (短16回)

5月16日、平成20年12月に亡くなっ
た元学長の坂野先生を偲んで、静岡県
富士霊園へ墓参りに行って来ました。
前日、車2台で新潟を出発。途中、
長野善光寺御開帳を参拝して、山梨県
「パノラマライン山中湖」で一泊。
当日は朝から曇り空でしたが新緑と
草花が咲き乱れる中、「旧NITT古
やま会」メンバー6名が参加しました。
翌日、世界遺産で神秘の湧水として
有名な忍野八海を探索後、静岡県富士
霊園で坂野先生ご長男、ご長女と管理

30年近く前の事は鮮明に思い出され、
時が経つのを忘れて楽しい時間を過ご
す事ができました。

あと5、6年経つと状況も変わるの
かと思いますが、この頃の友人は宝物で
す。間隔を開け
ず再会を誓い解
散となりました。
ご参加頂いた
方、本当にあり
がとうございま
した。欠席され
た方も次回是非
ご参加をお待ち
しております。



棟で待ち合わせしました。
富士霊園は広大な敷地で緑の木々、
そしてツツジなど季節に応じた花々が
出迎えてくれました。

管理棟からお墓までご案内していた
だき御影石には「坂野家」と彫刻がほ
どこされ、6名は先生と奥様の元気な
姿を思い浮かべ
ながら手を合わ
せお参りしまし
た。

終わって管理
棟でお二人と一緒
にコーヒーを飲
みながら生前の
先生と奥様の思
い出話を語り合
い終了しました。



事務局だより

昨年は、国内ではバス・乗用車・トラックの事故が全国で多数発生いたしました。

また、高齢者の運転者による民家・商店・電柱等の事故もありました。事故といえは、高速道を走行しているときに突然、逆行運転をしている車に遭遇したと想像しますと、どのように対応するのか解らず事故になるのでしょうか。お互いに、気を付けたいものです。特に、スキーバスの事故が発生して若い人達が亡くなっています。今後を期待されていた若者、勉強に頑張っていたことに残念です。

明るい話題を、ここに紹介します。水球日本代表が32年ぶりに本年度開催されるリオ五輪に出場です。ブルボンウォーターポロクラブの選手も大活躍をしました。相撲では、10年ぶりに日本人力士が見事優勝しました。このまま横綱に昇進を期待しています。新潟産業大学校友会の関係では、3年ごとの定期総会が平成27年11月14日に柏崎市のメトロポリタン松島で盛大に開催されました。県内はもとより全国からわれわれの会員であ

る仲間が参集をして交流・情報交換を行っていました。この定期総会では、平成26年に設立をいたしました「本部青年部」が本部役員と一緒に連携強化を図り定期総会の運営・開催に大いに活躍いたしました。今後の青年部の活動等に期待しています。また、本部定期役員会開催時にはトークイベント「夢を語る」を開催し多いに好評でありました。今後も母校新潟産業大学の発展を期待し、校友会と連携して頑張っていきます。



予定されている会合がありましたら本部事務局までご連絡下さい。

◆本部事務局開局日：月、火、木、金の各曜日 10時～15時まで
〒945-1139
柏崎市軽井川4730
新潟産業大学校友会事務局
TEL 0257-2418444 (直通)
FAX 0257-2418444
Email: seitou_h@vis.nsu.ac.jp

平成27年度の動き

- ◆本部定期総会 (11月柏崎市)
事業報告・収支報告・事業計画・収支予算を審議報告
- ◆本部定期役員会 (6月柏崎市)
事業報告・収支決算・事業計画・収支予算の審議承認
- ◆卒業生と市民のための講演会 (6月柏崎市)
トークイベント「夢を語る」
佐藤啓介氏
(株)あみやき亭 代表取締役社長
青柳 勸氏
ブルボンウォーターポロ柏崎監督
司会 遠山亜紀子氏
- ◆本部総会実行委員会 (8月柏崎市)
- ◆支部長・事務局長会議 (10月長岡市)
- ◆新年度事業計画、及び予算会議 (28年3月)
- ◆各支部総会・青年部役員会の開催は次のとおり
支部総会 新潟支部 (7月新潟市)
柏刈支部 (7月柏崎市)
長岡支部 (9月長岡市)
県央支部 (9月三条市)
長野支部 (11月長野市)
青年部 三役会 (8月新潟産大本館)
役員会 (10月柏崎市)
意見交換会 (10月柏崎市)
- ◆職域・同期の会の開催は次のとおり
短39期同窓会 (10月柏崎市)

平成28年度予定される動き

- ◆本部定期役員会 (5月柏崎市)
- ◆本部青年部役員会
- ◆支部長・事務局長会議 (10月長岡市)
- ◆支部総会の開催予定
柏刈支部 (7月)
魚沼支部 (9月)
飯豊支部 (7月)
上越支部 (7月)
妙高支部 (9月)
佐渡支部 (9月)
北陸支部 (4月)
関東支部 (1月)
東海支部 (7月)
- ◆職域・同期会の開催予定
久味有志会 (9月)

編集後記

昨年の11月14日は3年毎の本部定期総会が柏崎市で開催されました。当日は、県内はもとより全国より校友会の会員が多数出席されました。久しぶりにお会いして交流を深めた事と思います。本年度も本部と青年部の連携強化、各支部の発展および青年部の活動等を期待しております。

内山和博 (短17回)